

工法概要

玉石混りの砂礫層や岩盤などの硬質地盤に鋼矢板を打設する場合、掘削機と杭打機の2種類の大型機械を用いて作業を行うのが一般的ですが、この工法では工期・工費に問題があり、環境への悪影響も甚大、安全性にも難点があります。そこで、これらのマイナス面をすべて克服すべく開発されたのが「硬質地盤クリア工法」です。鋼矢板とオーガを連動させながら圧入することで騒音・振動を最小限に抑え、圧入機本体も軽量・コンパクトなので周囲への威圧感もなく高い安全性を誇ります。また、従来工法では困難とされた傾斜地や水上での施工も可能となり、システム技術による仮設レス化で環境負荷を大幅に低減させました。



モデル名SCU-400M

■ 圧入の優位性

- 無振動・無騒音
- 転倒しない
- 圧入機本体は軽量・コンパクト
- 杭の支持力を確認しながら施工できる
- 高精度の施工ができる



■ 芯抜き理論（圧入とオーガの連動）

圧入とオーガ掘削を連動させた当社独自の「芯抜き理論」により、圧入の優位性を損なうことなく、硬質地盤への圧入を実現



多くのメリット

- 玉石・礫を含む地盤や岩盤などの硬質地盤への圧入ができる
- 従来工法の杭打機のような転倒の危険や威圧感がない
- 圧入機本体は軽量・コンパクトで、狭い場所や傾斜地でも施工可能
- 掘削は最小限に抑えるため排土量は極めて少なく、強固な杭連続壁を構築できる
- 独自のシステム施工技術により、環境負荷の少ない **グリーン工法**※を実現

※ 当社の圧入システム技術は平成13年度「環境賞」を受賞

硬質地盤クリア工法は、国土交通省の新技术活用システム「NETIS」に登録済（登録番号 CB-980118）で、技術活用パイロット事業に用いる工法として運用中